

広報

やすらぎ

No.71 平成27年11月25日発行

芸術の秋を楽しみました やすらぎ会文化祭開催

今年のやすらぎ会文化祭の開催は10月24日(土)。午前のステージ部門では川舟田植え踊り保存会様による田植え踊り、佐々木孝道様と小笠原一夫様による唄と踊り、そして秋田在住の歌手、佐藤昭夫

様のショーをお楽しみいただきました。どのステージも大変見応えがあり特養住民の皆さんは大興奮、身振りをまねたり大きな声援を送る姿がありました。午後は小豆がゆとあぶら味噌をみんなで調理しました。沢内に伝



伝統の川舟田植え踊りでステージの幕開け



このひもの先に幸運あれ!

わる昔話にちなんで「おですこ団子」コーナーと称し、出来上がった小豆がゆやあぶら味噌団子を会場の皆さんで試食。なかなかの味に仕上

がり、おなかも心も満たされました。ほっぴき大会では地域の名人さんが大活躍。当たりの可能性のある方が絞られていくドキドキ感が最高でした。特養住民やサービス利用者様の展示作品も好評で、たくさんの方の笑顔にふれた秋の日でした。



制作者の想いが伝わってきます



全員の避難を確認中

総合防災訓練

ぶなの園では年に数回防災訓練を行っており、10月19日には機械室からの出火を想定した総合訓練を実施しました。火災報知機を作動させ、職員誘導で施設の外へ避難。約13分の時間を要しましたが、慌てず安全な場所に避難することができました。その後は西和賀消防署員の指導で消火器による消火訓練も実施し、非常に有意義な訓練となりました。万が一への備えは大切です。今後も定期的に実施してまいります。

感染症の流行期を前に

感染性胃腸炎やインフルエンザ等の感染症流行期がやってきます。ぶなの園では10月から11月にかけて、嘔吐物処理のロールプレイなど感染症対策の学習会を数回実施しています。感染症対策はウイルスなど感染源の侵入を防ぐことがまず大事ですが、利用者や職員が罹患してしまった際には感染を拡大させない対応が重要です。職員による内部学習のほかに、11月には西和賀さわうち病院より医師、看護師を派遣していただいて



嘔吐物処理のロールプレイ

じっくりと学習することができました。目に見えないものだからこそ、しっかりとした理解と意識を持つ必要があります。適切な手順、対応を繰り返し確認し、これからの流行期を乗り切りたいものです。



手洗いの様子を映写しながら確認

和賀川
40
施設長 平川 縫子

■平成27年9月19日、安保法案がとうとう強行採決されてしまった。戦後70年の今年、戦争体験者は高齢となり、ともすれば戦時中の悲惨な状況は風化されつつある。しかし、なんとしてもこれは語り継がなければならぬ。■今は亡き私の父もあの第二次世界大戦で尋常でない体験をした一人である。子どものころ父からよく戦時中の体験を聞かされたものだ。■私は正直その話をする時の父が嫌いだ。『戦争は残酷で非人間的な行為』負けても勝つてもすべての人たちを不幸にするものだということに心に植えつけられて育った。■父は90歳で亡くなるまで、夜中に大きな悲鳴をあげてうなされていた。戦時中の恐怖によるものだ。母は話していた。父だけでは足りない、戦争に関わったすべての人々には70年経った今もこれからも終戦はないのだ。



車内はとっても楽しそう

西和賀の自然の美しさは私たちの自慢ですが、特に秋の紅葉は格別です。10月中旬、その美しい景色を楽しむために、数名の住民と職員でドライブにでかけました。黄色、紅色、オレンジ色など大自然が創り出した芸術作品をゆつくりと堪能。季節の移り変わりを肌で感じる事ができました。途中、乗車していた高橋喜志雄さんの娘さん家族が稲刈りをしているところを偶然通りかかり、車と作業を止めて手を握り合う姿も。こちらも美しい光景でした。

元気に育ってくれてありがとう

施設の前の小さなスペースで野菜を育てている高橋カヨさん。2年目の今年も立派なナスが収穫できました。春に苗を植えてから毎日のように成長を見守る姿は、まるでひ孫のゆりかごをゆすっているやさしいおばあちゃん。そのやさしさも栄養として吸収されたことでしょう。収穫したナスはカヨさんが自分で調理し、みんなでおいしくいただきました。



大きなナスを手につれしそうなカヨさん



「がんばってるなあ〜」と娘さんを激励

香り・歯ごたえ・味

～やっぱりそばが好き～

山々が色づく季節になると、あったかい手打ちそばが食べたくくなります。ぶなの園では毎年この時期に、間近でそば打ちを見て、体験する催しを実施しています。今年10月20日、富士産業の職人さんにご指導いただいた実施しました。そば粉八割の二・八そば。



デイサービス利用者様もそば切りに挑戦



出来上がりが楽しみだ♪

こねる、伸ばす、切るの行程を数名の利用者と職員が体験し、「真心」の味が加わった手作りそばの出来上がり。揚げたて天ぷらと一緒にいただきました。風味豊かなおいしいそばでした。

でかけよう！紅葉ドライブ

□特別養護老人ホーム ぶなの園

□デイサービスセンター ぶなの園

□ホームヘルプステーション ぶなの園

□西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

Eメール bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp

□高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会

広報委員会

平成27年9月1日～10月31日

【ご寄付】

- ・皆方勇様
- ・井口文子様
- ・大石カヤ子様
- ・岩手県理容生活衛生同業組合
北上支部沢内地区様

【ご寄贈】

- ・藤田重信様
- ・佐々木絹子様
- ・佐藤康衣様
- ・柿澤知々子様
- ・南川幸一様
- ・吉田一男様
- ・皆方勇様
- ・佐藤昭夫様
- ・西和賀町商工会女性部様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様
- ・おはなしきらきら様
- ・西和賀高校様
- ・新町保育所様
- ・梅檀保育所様
- ・川舟保育所様
- ・趣味の会様
- ・佐々木エリ子様
- ・高橋祐子様
- ・佐々木厚子様
- ・佐々木芳子様
- ・高橋昭土様
- ・高橋和子様

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

Photo プラス1



テーブルの上に広がる「美しい秋」
～作品の制作をする利用者の皆さん～

編集後記

西和賀町誕生十周年、おめでとうございます。町の誕生日をみんなが憶えているというのは、素晴らしいことです。合併後に生まれた子どもたちにもしっかりと伝えていきたい記念日です。たくましく育てていきましょう。

やすらぎ会広報委員会

米澤大地 佐々木愛子

照井千春 加藤美代子

高橋 渉

あしあと

法人の主な動き

- | | | | |
|-----|------------|-----|--------------|
| 1日 | 課長会議 | 1日 | 防災メニュー |
| 2日 | 課長会議 | 2日 | 障害福祉サービス集団指導 |
| 4日 | 住民結核検診 | 9日 | 秋の味覚を楽しむ会 |
| 8日 | 出張理容 | 10日 | ショートステイ家族懇談会 |
| 16日 | 住民の健康を祝う集い | 19日 | 総合防災訓練 |
| 17日 | 入所検討委員会 | 20日 | 手打ちそばの日 |
| 24日 | 秋の彼岸法要 | 24日 | やすらぎ会文化祭発表会 |
| 1日 | 課長会議 | 27日 | 法人内部監査 |
| | | 30日 | 運営理念学習会 |